

## 10. 山口県美祢市 河原上 たたら製鉄遺跡

kwrkmiprint.htm 1996. 10. 10



河原上製鉄遺跡 美祢市と秋芳町の境

秋の日差しの強い午後。兼ねてより聞いていた美祢市の北 花尾山へ登る。

この近辺は大理石・石炭だけでなく、銅などの金属鉱山が古くからあり、すぐ近所的美東・秋芳町との境には古い時代に「銭」を鑄造した場所も残っている。

また、この山の南の山の本当に山奥のどん付には「たたら」の地名が500万分の1の地図に載っている。ひょっとしてこの地にも「たたら製鉄」の痕跡があるに違いない。

名水百選にも選ばれた花尾山の湧き水「別府池」のすぐ西隣の谷を川沿いに入ってゆく。さらに、人家も途絶え、道も砂利道 ダムと池を過ぎ、杉林の中をどンドン林道をあがってゆく。

山道になって約30分。うっそうとした杉林の中、思いもかけず、山を背に幾段にも組まれた石垣の跡が見える。近くに谷川も見える。各地の沢筋でみた見た「たたら」の跡に近い。

近づくと「河原上製鉄遺跡」の白い標識の杭が建っていました。

美祢市と秋芳町の境の花尾山の南の山の中で、もう誰も住んでいない奥である。思いもかけずの 美祢でのたたら遺跡の出会いであつた。「かなな流し」の谷川もすぐ横にある。

おそらく そんな古い遺跡ではないが、しっかり、山の中に「たたら」場の遺構が残っている。明治・大正・昭和の初期まで、多くの人が行き来をした賑わいがこの山奥まであつたに違いない。恐らく何年前に発掘調査がきっちり行なわれたのであろうが、美祢の街で聞いた事がない。今は全く山の中に打ち捨てられ、完全に賑わいの在った事も製鉄遺跡があることも完全に忘れられている。

「たたら製鉄遺跡」は、どこもそうだが、本当に山奥の奥 かつての賑わいが信じられない場所に大きなたたら集落が形成されていた。それが、置き去りにされ、忘れ去られるか、または 開発の波に根底から掘り返され、跡形もなくなってしまいかしているのが、現状。

鉄の生産には多くの人に関わり、出来たものが遠くに運ばれたに違いない。

それは弥生時代から連綿と続く「人の流れ・文化の流れ」であり、華やかな往来と賑わいがあつたに違いない。

今 ここに立ってもまったくそれはわからないが……………「たたら」は間違いなくその証人といえる。